

【はじめに】

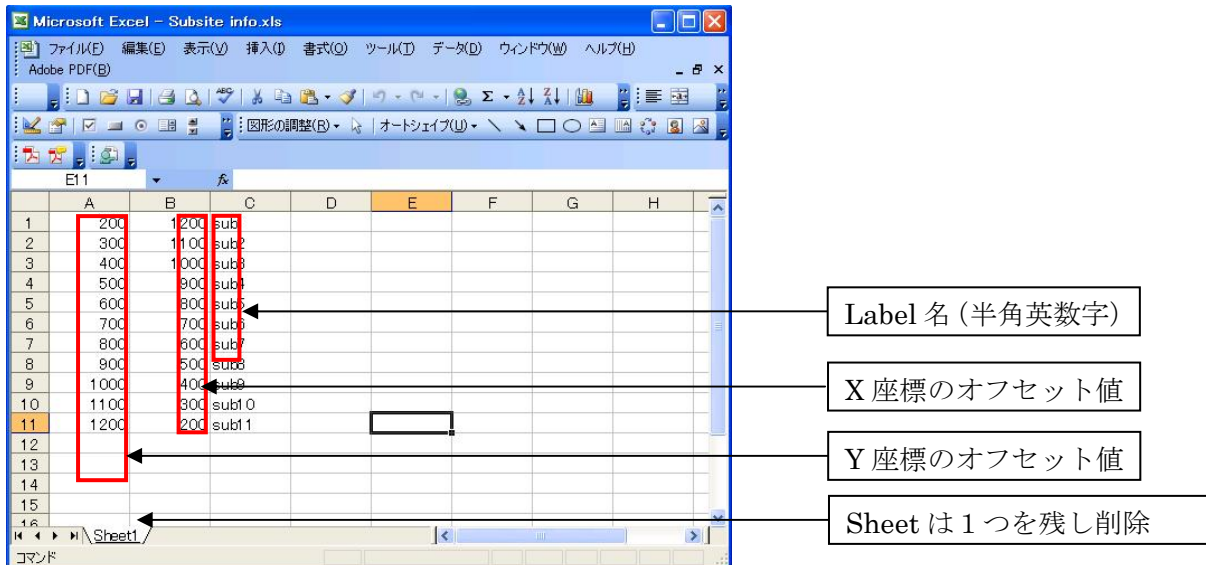
セミオート・プローブ・ステーションをお使いのお客様で、Nucleus ソフトを使用して測定を行う際、WaferMap の Subsite を登録する必要があります。

大量の Subsite を登録する際、WaferMap の画面上での登録作業に手間がかかっていませんか？
ここでは、そんな手間を一気に解消し、簡単に登録できる方法をご紹介します。

【方法】

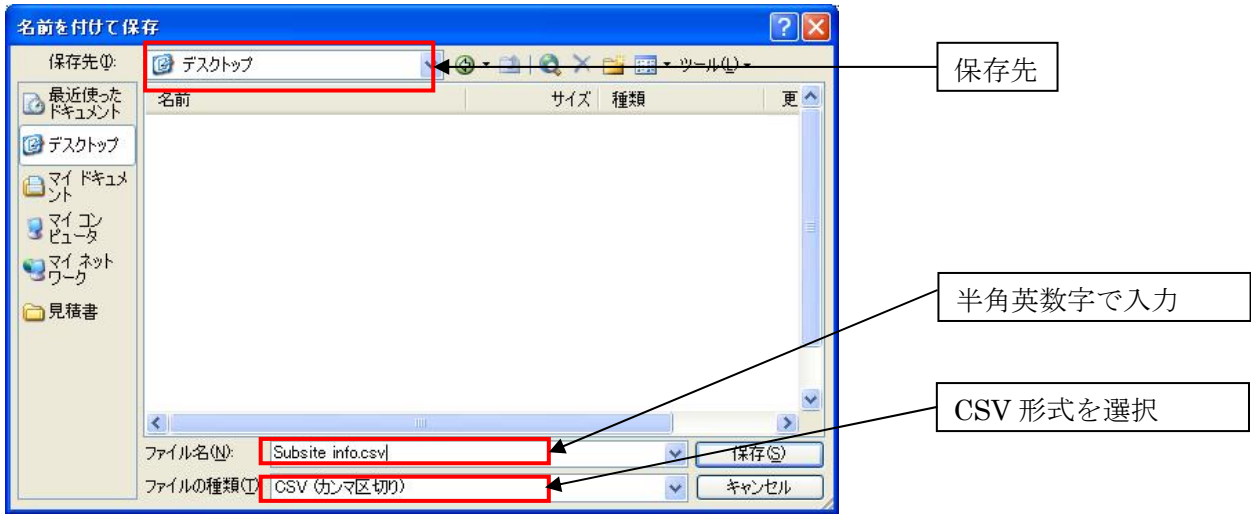
WaferMap 情報を外部作成し、読み込む方法

- Die の Reference 位置からの X 座標、Y 座標のオフセット量および Label 名を入れたリストを Excel に作成する。
 - Excel の新規作成を選択する。
 - Sheet1~3 が出てきますので、1 を残し 2 と 3 を削除する。
 - Sheet1 の A 列に X 座標のオフセット量を入力する。
 - Sheet1 の B 列に Y 座標のオフセット量を入力する。
 - Sheet1 の C 列に Label 名(半角英数字)を入力する。

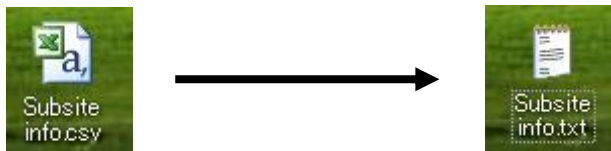


	A	B	C	D	E	F	G	H
1	200	200	sub1					
2	300	1100	sub2					
3	400	1000	sub3					
4	500	900	sub4					
5	600	800	sub5					
6	700	700	sub6					
7	800	600	sub7					
8	900	500	sub8					
9	1000	400	sub9					
10	1100	300	sub10					
11	1200	200	sub11					

- Excel にて作成したリストを保存する。
 - 名前を付けて保存を選択する。
 - 保存先を選択する。(ex. デスクトップ)
 - ファイル名は”半角英数字“で入力する。
 - ファイルの種類は”CSV(カンマ区切り)”を選択する。
 - “保存”を左クリックすると、再度保存確認画面が表示されるので”はい”を左クリックする。



3. Excel を終了する。
4. 保存したファイルの拡張子を”.csv”から”.txt”に変更する。



5. txt ファイルを FD または USB メモリにコピーし、Nucleus がインストールされている PC に移し変える。
6. Nucleus で Subsite 情報を読み込む。
 - (1) Nucleus を起動する。(Nucleus 取扱マニュアル参照)
 - (2) Wafer Map を開き Subsite 設定画面を開く。(Nucleus 取扱マニュアル参照)
 - (3) “Tools”→”Load from file”を選択する。

* Subsite 情報が Nucleus 側に残っている場合は確認画面が出てきます。
“Yes”を左クリックして進みます。

 - (4) 項目5で保存したファイルを選択して開く。

